

パレスチナ訪問報告会

パレスチナは今・・・

日時：2009年2月27日（金）18：30～

場所：仙台市市民活動サポートセンター 6F セミナーホール

資料代：300円

報告者：皆川万葉（パレスチナ・オリーブ）他

主催・連絡先：パレスチナと仙台を結ぶ会 022-251-3106

パレスチナ・オリーブ 022-343-8754 <http://www5a.biglobe.ne.jp/~polive/>



2008年12月27日、イスラエル軍によるガザ空爆が始まり、1月3日には地上侵攻。ヨルダン川西岸地区やガリラヤ地方は、ガザの人々への連帯の気持ちで、町や村にはハッタ（クーフィーヤ）があふれていました。

コフル・カナ村（ガリラヤ地方）にて

2009年1月5日～19日に皆川がパレスチナ（ヨルダン川西岸地区とガリラヤ地方）を訪問しました。ガザ攻撃中のパレスチナ、イスラエルの様子を報告します。また、イスラエルによるガザ攻撃の背景と現状、2月10日のイスラエル総選挙結果と今後について早尾が報告。また「パレスチナと仙台を結ぶ会」の石川から「ガザ緊急支援クッキー」の案内・販売もあります。

*生産者についての詳しい報告は以下で行ないます。

.....
フェアトレードカフェ 「パレスチナの生産者のはなし」

日時：2009年3月15日（日）14：00～

場所：cafe will（仙台市青葉区立町 9-10-102 tel.022-397-6608）

参加費：600円（フェアトレードコーヒーまたは紅茶、オリーブオイル試食付き）

報告者：皆川万葉（パレスチナ・オリーブ）

主催・申込：パレスチナ・オリーブ

協力：あーすらいふ仙台

フェアトレード店 cafe will で、パレスチナの生産者訪問の報告会をします。ガザ攻撃の最中という落ち着いた時期で、生産者も怒り嘆いていましたが、丁寧に仕事をしていました。

(第3種郵便物認可)

09.2.17 毎日(ヤマガタ)

手作りクッキーでパレスチナ自治区ガザ支援を——と、仙台市の市民グループ3団体が協力して「ガザ緊急支

ガザ地区のろう学校支援

手作りクッキー販売

仙台の3市民団体



パレスチナ支援を訴えて製作されたクッキー
パレスチナと仙台を結ぶ会提供

援クッキー」の販売を始めた。1袋500円で販売し、うち200円をガザ地区のろう学

校に寄付する。クッキーは、同市宮城野区松岡町の障害者作業所「コッペ」(飯

嶋茂所長)が製作。同市若林区の「パレスチナ・オリーブ」(菅川万葉代表)が輸入したパレスチナ産オリーブオイルをバター代わりに使用する。収益はパレスチナと仙台を結ぶ会(石川雅之代表)が02年から支援を続ける「アトナルろう学校」への寄付となる。

コッペは「障害があってもなくても一緒に働ける能率最優先でな

い社会」を目標するパンとクッキーの工房。パレスチナ女性の自立や地域再生を目標するパレスチナ・オリーブの理念に共感、これまでも同団体が輸入したオリ

ーブオイルを使っていた。昨年未からのイスラエル軍によるガザ地上侵攻をニュースで知り、飯嶋所長が石川代表に「何か役立たないか」と相談。パレスチナ産オリーブオイルを使ったクッキーによる寄付集めを思いついたという。石川代表は「戦争の被害は弱い人に集中する。日本からの寄付を、ガザの人たちや障害者の生活再建のために活用してもらいたい」と話している。

問い合わせは、パレスチナ・オリーブ(022・343・8754)かコッペ(02

22・299・1279)へ。【藤田祐子】